

文学部 日本語日本文学科 カリキュラムツリー

〔2026年度(令和8年度)の入学生に適用〕

卒業認定・ 学位授与の方針 (DP)	(1) 【人物教育】 教養ある社会人として責任感と倫理観を持ち、現代社会の発展に貢献する意志と能力を有するとともに、自らを律し、他者と協調・協働することができます。			卒業認定・ 学位授与の方針 (DP)	(4) 【専門・知識】 世界に発信し得る、日本語と日本文学に関する知識と常識を有しています。				
	(2) 【人物教育】 天賦の特性を自ら伸ばして活用する意志と能力を有しています。				(5) 【専門・コミュニケーション能力】 自らの考えを分かりやすく表現し、他者に伝える力を有しています。				
	(3) 【広い教養】 人文科学・自然科学・社会科学に関する基礎的教養、自己の能力・資質を社会生活で活用し得る基本的な技能及び自己の健康増進に関する技能を有しています。				(6) 【集大成・課題解決】 的確な問いをたてて問題解決を図る意志と能力を有しています。				
対応する卒業認定・ 学位授与の方針 (DP)の番号	(1) (2) (3) (5)	(2) (5) (6)	(5) (6)		(1) (3)	(5)	(5)	(4)	(1) (2)
到達目標	Z 人文科学、自然科学、社会科学などに基づく大局的な視野と倫理的な視点から、専門分野と社会の関わりを考察することができ、自己の健康増進に関する技能を有し、グローバル社会において多様な人々と意思疎通を図ることができる。	A 的確な問いをたてて問題解決を図る能力を有しているとともに、日本語を用いて論理を構成し文章で他者を説得することができる。また、研究リテラシーを体得し、日本語と日本文学に関する高度な分析能力を有している。	B 日本語について分析するために必要となる基礎的知識を有しているとともに、情報を的確に取捨選択し、有効に活用することができる。		C 日本語について分析するために必要となる基礎的知識や、さまざまな時代の文章を的確に理解するための基礎的な読解力を有している。また、日本語を通じて社会とのつながりを保持し、地域との連携を深めることができる。	D 日本古典文学について分析するために必要となる基礎的知識や、さまざまな時代の文章を的確に理解するための基礎的な読解力を有している。また、日本語を用いて論理を構成し文章で他者を説得することができる。	E 日本近現代文学について分析するために必要となる基礎的知識や、さまざまな時代の文章を的確に理解するための基礎的な読解力を有している。また、日本語を用いて論理を構成し文章で他者を説得することができる。	F 日本語学と日本文学に隣接する諸領域を横断し分析するために必要となる基礎的知識を獲得するとともに、自らの考えを分かりやすく表現し、他者に伝える力を有している。また、研究リテラシーを体得し、日本語と日本文学に関する高度な分析能力を身につけるとともに、社会で生かすことができる。	G 日本語学と日本文学に隣接する他分野の知識を獲得するとともに、的確な問いをたてて問題解決を図る能力を有している。また、日本語を通じて社会とのつながりを保持し、地域との連携を深めることができる。
科目群	全学共通科目	必修科目	日本語のしくみ科目		日本語と社会科目	古典文学科目	近現代文学科目	共通分野科目	関連科目
4 年		卒業研究◎ 研究演習◎			日本語教授法実習Ⅱ			演習Ⅲ b 演習Ⅲ a	
3 年		演習Ⅱ b◎ 演習Ⅱ a◎	日本語学特殊講義Ⅰ 現代日本語研究Ⅱ 現代日本語研究Ⅰ 日本語語彙論Ⅱ		日本語教授法実習Ⅰ 日本事情 日本語教育特殊講義	近世文学研究 中世文学研究 中古文学研究 上代文学研究	現代文学研究 近代文学研究	日本文学特殊講義Ⅱ 日本文学特殊講義Ⅰ こどもの文学とことば 日本の舞台芸術 映像表現研究 融合フォーラム（ジェンダー） マンガ・アニメ史	英語圏文化Ⅱ 英語圏文化Ⅰ 英語の獲得と理解 コミュニケーション研究 メディア研究 古文書学Ⅱ 古文書学Ⅰ
2 年	基礎共通科目（人文・自然・社会）＊1	演習Ⅰ b◎ 演習Ⅰ a◎	日本語学総論Ⅰ 日本語音声学Ⅱ 日本語音声学Ⅰ 日本語文法論Ⅱ○ 日本語文法論Ⅰ○ 日本語史Ⅱ○ 日本語史Ⅰ○		日本語教授法研究Ⅱ 日本語教授法研究Ⅰ 日本語教育研究Ⅱ 日本語教育研究Ⅰ 日本語学特殊講義Ⅱ 対照言語学Ⅱ 対照言語学Ⅰ 社会言語学Ⅱ 社会言語学Ⅰ	漢文学Ⅱ b○ 漢文学Ⅱ a○	現代文学講読Ⅳ 現代文学講読Ⅲ 近代文学講読Ⅳ 近代文学講読Ⅲ	文学と表現Ⅱ 文学と表現Ⅰ 比較文学特殊講義 ことばの研究 関西のことばと文学 書道	社会心理学 文化人類学 多文化共生論 地域社会論 情報社会論 現代文化論 文学思想史 発達心理学 民俗学の諸問題Ⅱ 民俗学の諸問題Ⅰ 地理学・民俗学資料研究Ⅱ 地理学・民俗学資料研究Ⅰ
1 年	基礎共通科目(人文・自然・社会)＊1 基礎共通科目(導入共通/学際融合等)＊2 スポーツ健康マネジメント演習Ⅱ スポーツ健康マネジメント演習Ⅰ College English Reading College English Writing College English Listening College English Speaking 基礎第2外国語Ⅱ（ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語・日本語） 基礎第2外国語Ⅰ（ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語・日本語）	基礎演習Ⅱ◎ 基礎演習Ⅰ◎	言語学概論Ⅱ 言語学概論Ⅰ 日本語学概論Ⅰ◎		マスコミ言語研究Ⅱ マスコミ言語研究Ⅰ 日本語教育概論Ⅱ 日本語教育概論Ⅰ 日本語学概論Ⅱ◎	近世文学講読Ⅱ 近世文学講読Ⅰ 中世文学講読Ⅱ 中世文学講読Ⅰ 中古文学講読Ⅱ 中古文学講読Ⅰ 上代文学講読Ⅱ 上代文学講読Ⅰ 漢文学Ⅰ b○ 漢文学Ⅰ a○ 日本文学史Ⅰ b○ 日本文学史Ⅰ a○ 日本文学概論Ⅱ◎	現代文学講読Ⅱ 現代文学講読Ⅰ 近代文学講読Ⅱ 近代文学講読Ⅰ 日本語表現Ⅱ○ 日本語表現Ⅰ○ 日本文学史Ⅱ b○ 日本文学史Ⅱ a○ 日本文学概論Ⅰ◎		横断演習Ⅱ 横断演習Ⅰ 阪神文化論 IT 応用

1. 基礎共通科目は、合計 18 単位を取得しなければならない。
①人文科学系、社会科学系、自然科学系の授業科目の中から、それぞれ 4 単位以上（＊1）
②導入共通科目「甲南大学と平生飢三郎」共通基礎演習ⅡIT 基礎ⅡAI・データサイエンス入門」の中から 2 単位以上、学際融合系・国際言語文化系・スポーツ健康系の授業科目の中から 2 単位以上（＊2）
2. 次の科目については、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修または選択必修のいずれの単位数にも充てることはできない。
①文学部他学科の専門教育科目および共通・関連科目
②中級・上級外国語（国際言語文化副専攻に登録した者が履修する「中級英語 Writing」、「中級英語 Presentation」、「中級ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」、「中級フランス語Ⅰ・Ⅱ」、「中級中国語Ⅰ・Ⅱ」、「中級韓国語Ⅰ・Ⅱ」および「大学日本語中級Ⅰ・Ⅱ」、「大学日本語上級Ⅰ・Ⅱ」を除く。）については、16 単位以内
③海外語学講座・留学支援科目については、8 単位以内
④生涯スポーツについては、2 単位以内
⑤関係学部長の許可を得た他学部の専門教育科目およびキャリア創生共通科目については、併せて 16 単位以内
注）上記 2 の①～⑤の科目は、カリキュラムツリー上に表示していない。
3. ○はカリキュラムマップにおける授業科目表（文学部日本語日本文学科）専門教育科目の必修科目、○は基礎科目を表す。